

神戸市との包括連携協定の一環で実現 板宿小学校にて、虫たちとの共生を学ぶ出前授業を実施

9月17日（火）、神戸市立板宿小学校の5年生約70人を対象に、「虫たちのことを正しく怖がろう！」と題した出前授業を実施しました。

同校の5年生は、9月24日から26日まで八チ高原のANNEXフォレストロッジにて自然学校を実施予定であり、その事前学習としてアブや蚊、マダニなどの吸血性害虫への正しい対処方法を虫よけ剤「サラテクト」を使用して学びました。

神戸市とは令和6年6月に包括連携協定を締結しており、今回は「自然と共生した安全・安心で持続可能なくらしの実現」の一環として、研究部の浅井一秀係長と野村拓志係長が担当しました。

